

# ラスベガス旅行記 2021

## (MTG 観光編)



Pui!



# たのしい♡

トラブルさえなければ



# 目次

<a href="#">この本について</a>	2	<a href="#">MGMの朝食バフェイハ</a>	14
<a href="#">MTG Vegas 2021 について</a>	3	<a href="#">MGMの朝食バフェイのコスパ</a>	15
<a href="#">参加への事前準備</a>	3	<a href="#">ラスベガスの看板</a>	16
		<a href="#">ピンボール博物館</a>	17
		<a href="#">原爆博物館</a>	18
<b>2021年11月17日(水)</b>		<a href="#">ハローキティカフェ</a>	20
<a href="#">シアトルへ</a>	4	<a href="#">M&amp;Mの刻印サービス</a>	20
		<a href="#">ホテルに戻る</a>	22
<b>2021年11月17日(水)</b>		<a href="#">フーターズの夕食</a>	22
<a href="#">シアトル空港</a>	5	<a href="#">カジノ(第3回)とキャッシャーでのトラブル</a>	23
<a href="#">ラスベガスへ</a>	5	<a href="#">荷造り</a>	24
<a href="#">空港のバス停を探す</a>	6	<a href="#">カジノ(第4回)</a>	25
<a href="#">OYOホテルにチェックイン</a>	7		
<a href="#">夜のストリップとPopeye's</a>	8	<b>2021年11月19日(金)</b>	
<a href="#">M&amp;Mワールド</a>	9	<a href="#">MTG Vegas 初日</a>	26
<a href="#">ABCストア</a>	9	<a href="#">パッケージ受付</a>	26
<a href="#">カジノ(第1回)</a>	10	<a href="#">シールドリーグ受付</a>	27
<a href="#">仮眠</a>	11	<a href="#">シールドリーグ 1回目</a>	28
<a href="#">準備とカジノ(第2回)</a>	11	<a href="#">昼食</a>	29
<a href="#">バス停をスクショ</a>	12	<a href="#">シールドリーグ 2回目</a>	30
<a href="#">冷たい飲み物</a>	13	<a href="#">マルディグラにチェックイン</a>	32
		<a href="#">コンビニに買い出し</a>	32
<b>2021年11月18日(木)</b>		<a href="#">体力回復に努める</a>	33
<a href="#">観光メインの日</a>	14	<a href="#">荷物の増量予約</a>	33

## 2021年11月20日(土)

<a href="#">MTG Vegas 本戦</a>	35	<a href="#">ナーセットの日本絵大人気</a>	46
<a href="#">会場入り</a>	35	<a href="#">D&amp;D 赤箱のグッズ</a>	48
<a href="#">本戦開始</a>	36	<a href="#">ダブルアップシールド</a>	48
<a href="#">アラジンを買う</a>	40	<a href="#">ダウンタウンへ</a>	51
<a href="#">夕食</a>	41	<a href="#">ゴールデンゲート・ホテル</a>	51
<a href="#">就寝</a>	42	<a href="#">フリーモント・ストリート・エクスペリエンス</a>	52
		<a href="#">TOY SHACK</a>	53

## 2021年11月21日(日)

<a href="#">MTG Vegas 最終日</a>	43	<a href="#">Benny's Smokin'で夕食</a>	54
<a href="#">施設のクローク</a>	43	<a href="#">おっばいカジノ (第5回)</a>	54
<a href="#">本日の予定</a>	44	<a href="#">おっばいカジノ (第6回)</a>	55
<a href="#">シールドリーグ 3回目</a>	45	<a href="#">就寝</a>	56
<a href="#">プライズウォール</a>	46		

## 2021年11月22日(月)

<a href="#">帰国のための検査日</a>	58
<a href="#">MTO Cafeのエルビスサンド</a>	58

## この本について

本書は2021年11月19日(金)～21(日)にかけLas Vegas Convension Center (LVCC) で開催されたマジック・ザ・ギャザリングのイベント「MTG Vegas」にプレイヤーとして参加した筆者の記録です。

現地の金額表記はドル(\$、米ドル、USD)で行いました。為替レートは1ドル=115円くらいだったようです。円安つらかったです。

ただし今回に限ってはCovid-19(新型コロナ)の世界的流行のために海外旅行に大きな制限が出たうえ**トラブルで帰国できなくなり**1日帰国が遅れた事態が実際に発生したため、その辺は本誌の姉妹同人誌「ラスベガス旅行記2021(コロナトラブル編)」にまとめました。あちらも読み応えがあると思いますので、あわせてどうぞ。

本書はそれ以外の部分である「マジック・ザ・ギャザリングの海外大会に参加した楽しいラスベガス観光旅行」についての同人誌です（いつものウチの同人誌でもあります）。

いやまあ楽しいことばかりでなく、割と結構つらいこともあったのですが（笑）。

## MTG Vegas 2021 について

2年前まではマジック・ザ・ギャザリングの大型大会はGP（Grand Prix）と呼称されており、さらにはイベント全体をMF（MagicFest）として呼称するようになった年に50回くらい（日本でも年4回くらい）開催されていたイベントだったのですが、2020年の頭から世界を席卷したコロナ禍によって突然開催が不可能になって約2年が経過しました。しかしどうやらワクチン接種も進み、感染者の減少傾向も見られた2021年9月24日に「そろそろ大丈夫かな」と判断したためかChannel Fireball（※1）が「2021年11月19～21日にラスベガスで紙の大型大会MTG Vegas（※2）を開催します」と発表し、筆者はこれに参加することにしました。会場はいつものLVCC（※3）です。やってる内容は基本同じですがMTG Vegasは正確には「GP」ではありません。

※1 <https://channelfireball.com/>

※2 <https://www.mtglasvegas.com/>

※3 <https://www.lvcva.com/>

## 参加への事前準備

今回のコロナ禍で渡米するために必要だった各種の準備については、姉妹同人誌「ラスベガス旅行記2021（コロナトラブル編）」で詳述しましたので、こちらでは割愛します。

日本を出国するまでについては、あちらの同人誌をごらんください。

本書はその続きの、日本を出国しての機内から記述することにいたします。

## 2021年11月17日（水） シアトルへ

定刻からシステムトラブルで遅延の18時03分、デルタ航空166シアトル行きは羽田を発ちました。9時間の空の旅です。席は（トイレに自由に行けないので）自分が好きではない窓際でしたが、水平飛行に移るなり隣の爺さんが席を移動したため、通路にアクセスしやすくなり1.5席を占有できました。これは幸い。



最初に無造作にでん、とペットボトルの水と食事キットが置かれたうえで18時45分、夕食が配られ始めました。自分は「ビーフ」を注文。まあ「牛丼です」と説明された通りの味ですね…悪くないです。ごちそうさまでした。



あとはひたすら飲み物を貰って飲んだり、寝たり、機内映画でも観てヒマを潰すしかありません。

シャマランの新作「OLD」が割とキャッチーでもあったのですが、観ようとしたら日本語なしなのは別に良いとしても「この映画はこの機では上映できません」とのこと。ちえー。

日本時間で18日（木）の午前0時は西海岸での午前7時。そして日付は1日戻ります（ここからは西海岸時間で記します）。

そろそろシアトルの到着が視野に入ってきました。

午前8時半。朝食が配られました。

おいしく頂きます。

間もなくシアトルです。



## 2021年11月17日（水） シアトル空港

体感的には「翌朝」である同じ水曜日の午前9時半過ぎ、シアトル・タコマ空港に着陸。日本時間は午前2時半。ま、みんな寝ている頃だろう。

2千円で買ったAT&Tの安いSIMはやっぱり全然つながらないので空港Wifiに切り替え。今回も「安物買いの銭失い」だったな。とはいえほぼ無料Wifiを探せる環境で、2万円払う気にはな—。イミグレでは結構突っ込んだやりとりもありましたが、無事に通過。

イミグレでの係員とのやりとりは「ラスベガス旅行記2021（コロナトラブル編）」に掲載しました。よろしければそちらをどうぞ。

イミグレを通過したら、セキュリティを通過してシャトルで移動してゲートA2へ。ゲートA2を確認できたので1時間あるから軽く昼飯にするかと思うも、レストランなどいまいちの感があったのでポテチとドリンクを買って済ませる。

頭陀袋に入れて持ち歩くうち、アメリカ横断ウルトラクイズの帽子が早くも壊れてしまいハテナマークが外れてしまう。「ラスベガスの看板」の訪問予定は明日なので、今夜のうちに修理せねば。あとは充電しながらふいふいと遊ぶくらいしか、やることはないようだ…。



## ラスベガスへ



正午前に搭乗し、デルタ2748は離陸。

1時間くらいしてスナックと飲み物が出た以外は、2時間半ほどのフライトなので書くべきことはありません。映画も見るほどもなく14時14分にラスベガスのマッカラン空港にデルタ2748便は着陸しました。

## 空港のバス停を探す

「3年ぶりだね」

「…来たよ」

いつまでやるのか、このアルペジオごっこ。

これまでは荷物を回収したらタクシーを拾ってホテルに直行していたのですが、今回は自分の貧乏旅行の目標として「できるだけバスを利用して費用を浮かす」ということを狙い下調べもしていたので、荷物を回収するなり空港のRTCバス駅を探しました。15分ほどでそれほど苦もなく発見。横の自動販売機でRTCの24時間チケット（8ドルは安い）を購入してCX線のNB（北方向）のバスを待ちます。



キラキラのラスベガスと無縁の、汚い路地のカネのなさそうな奴らばかりのバス停。連帯感を感じる。

CXでもシティ行きNBでなく別のターミナル行きのSB（南方向）を見送ったりガンガン来る109路線のバスを見送ったりしつつ、20分以上待つて到着したCXのNBに乗車。

どうやらバスでホテルまで行く実績を解除。

20分くらいバスに乗って、目的地 OYO ホテルが通りを渡った目の前にあるフラミンゴ駅で降車。横断歩道を渡って OYO ホテルに入ります。



## OYO ホテルにチェックイン

かつて「フーターズ・カジノホテル」だったものがインド系に買収されて OYO ホテルになったわけですが、さて、どうかな。

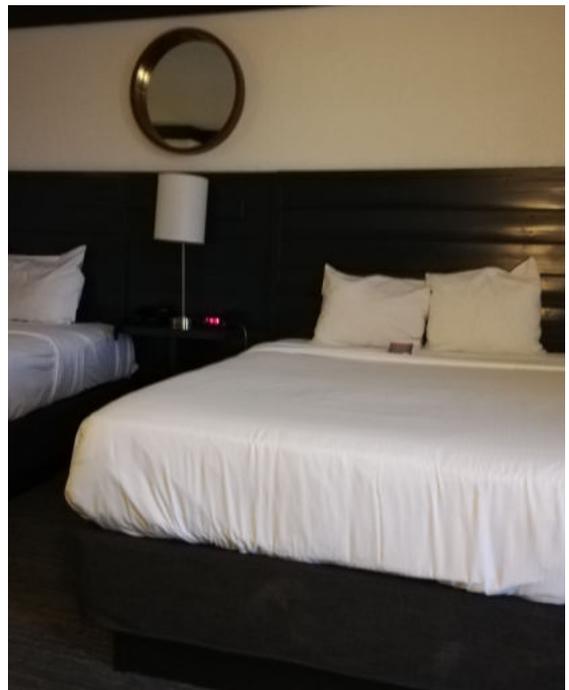
とりあえずチェックインの列がなかなか進まないことからのスタート。自分の番になって分かったのだが、デポジットがカードなら 100 ドルだが現金なら 300 ドル寄せという話で「なんだそれ」と聞き返す局面が入った。デポジットはどこでも取るし、返ってくるカネではあるのだが「なんだそれ」な世界。オペレーションは全体的に遅い。

カードキー 2 枚（2 人部屋だからね）を貰って入室。まあ…こんなものか。

TV のエロチャンネルはなし。

冷蔵庫なし。ショックだ。

続いてセキュリティーボックスを…と思ったらドアが壊れていてまともに閉まらないので腰を抜かす。**アジアの 2 千円宿**ですらこんなのがなかったぞ。



さすがにダメ過ぎたので、フロントに電話。修理員が来て蝶番をドライバーでいじってドアを閉めて「OK」と言い

去る。試してみたらその後、ドアが開かなくなっていた。

さすがに脱力したので、このセーフティーは使わない方向で日本財布もリュックに入れて歩くことにしてもう出ることにする。これから近場の観光と、夕食にしましょう。

昔のフーターズホテルの部屋も色々トラブルがあったのを覚えているので、その居抜きっぽいけど、とりあえず OYO ホテルになっても駄目そう…。

## 夜のストリップと Popeye's

向かいのMGMグランドがよく見えます。この季節なのでそろそろ16時の日没です。

近場を歩いて夕食にしましょう。

バスで北上してマーベルショップやらチャイナタウンも一応今日の予定で想定はしたものの、そんな元気はないので近場へ。



ストリップをつらつら歩くとすでに17時近かったのでフードコートに入り、ルイジアナチキンの店 Popeye's で12.12ドルのセットメニューを注文。このチェーン店の味付けは好きで、量も多…かったのだが少々多すぎか。12ドルセットなど楽勝だとも思ったが、いまの空腹の自分でもきつめ。骨付きチキン5つは何とかなりそうだったが、他のサイドがいちいち馬鹿にならないサイズ。

コールスローのカップも割と巨大だし、フライドポテトを想像していた「ポテト」も、1個丸ごとを煮たヤツが入っていたのを掬って食べる。おいしいけど量が。

「ビスケット」もリッツ3枚位を想定していたら小ぶりのバーガーくらいのヤツがでん。ぷいぷいを忘れたが写真でサイズは分かるか。頑張って完食して出る。コーラはさすがに半分残した。美味しくてコスパはいいので、また機会があったら。



## M&M ワールド

腹が膨れたので M&M ワールドへ。この M&M ワールドのラスベガス店は「任意のテキストを刻印したカスタム M&M」を作れるサービスをやっているのだ。ラスベガスの定番土産として利用しているのだ。今回は、いまの会社に転職してから初めてのラスベガスなので、会社名や製品名やらを刻印した M&M を帰国後に配ってウケを狙おうという**社畜根性**で店に入る。

フロア 3 階の馴染みのカスタム刻印コーナーに入り（とはいえ随分模様替えをしていました）、

刻印サービスを利用しようとしたらカウンターの前にロープが張られ「本日のサービスは終了しました」との掲示。えっ。まだ 18 時だよね？

どうということかと店員に聞き「営業時間は？」「23 時までです」「このサービスは？」「21 時までです」「利用したいんだけど」「本日の利用は終了しました」。

意味が分からなかったので何度か押し問答したすえ「ああ『**本日は**』終了しました」と言う意味かと判明。機械のメンテか何かだということだろう。

「分かりました。明日にでもまた来ます」と言ってにこやかに店を後にします。



## ABC ストア

明日以降に利用する可能性も高い Deuce NB のバス停を確認したりしながら、スーパーの ABC ストアへ。

ペットボトルの飲み物や、部屋でつまむポテチ

大袋などを購入する。ペットボトル飲料 1 本 2.5 ドルの優しい世界。

そして今夜のミッションとして「明日のためのウルトラクイズの帽子の修理」というのがあったので、文房具コーナーで接着剤とメンディングテープを購入。本当はセロテープかガムテープ（養生テープ）があれば強度の点でもそちらが良かったんだけど、見当たらず。

## カジノ（第 1 回）

部屋に戻ると 19 時。では、カジノでひと遊びしましょう。

このカジノは、かつてここが「フーターズ・カジノホテル」であった頃は、僕がそれを目当てにここへの宿泊を決めた（※）ほどであった**おっぱいカジノ**であったわけで、基本、夜はここで過ごすつもりでしたが、さて、どうでしょう。

※「GP ラスベガス 2013 参加記」。BOOTH で無料で読めます。<https://hiroji.booth.pm/items/2040445>

…うーん、ダメですね。テーブルが貧乏人仕様のミニマム 5 ドル台であるのはいいんですけど、ディーラーの制服が黒を基調としたただのスーツで、何よりおっぱい強調がない。最初に 100 ドル札を出してこれを 5 ドルチップ 20 枚に替えたらうえて流れで 5~20 ドルくらいずつ賭けてのブラックジャックを遊んだわけですが、勝ったり負けたりでなかなか減らないのが常とはいえ、なべて 75 ドル近傍をうろうろしていてさっぱり勝てません。ブラックジャックも 1 回しか出ないし。

いささか疲れてもいたので小一時間ほども遊んだうえ、1 回だけ勝ちが連続して一瞬だけ原点越えをしたのでそこでストップして精算して 101 ドルで終了。1 ドルの勝ち。

ミニマム 5 ドル台なのに 1 ドルの端数が出るのは、5 ドル賭けてのブラックジャックが出ると半額ボーナス（切り捨てで 2 ドル）が出るうえ、1 ドルを飲み物を頼んだ女給にチップとして渡したためです。

## 仮眠

部屋に戻ると 20 時過ぎ。とりあえず睡魔も襲ってきたので、シャワーを浴びて仮眠することにしました。今夜のミッションにはウルトラクイズの帽子の修理もありますが、まあ基本、予定はタイトではないので最悪明日の朝でもいいし。シャワーってから、ぐう。…目覚めたら 5 時間が経過。午前 1 時半ですが、日本時間は 18 時。ではいささか明日の準備をすることにしましょう。

## 準備とカジノ（第 2 回）

まず Kindle Fire のカバーを「キーボードつきカバー」に差し替えます。基本これは部屋に置いて日記書きなどをするつもりで、持ち歩くつもりはないので滞在中はこれで。

続いてメインの「ウルトラクイズの帽子の修理」。組み立て説明書に従いユニットにセロテープで止めていただけの「？」の



マークが外れてしまったので、その修理です。テープでなく全面糊付けしてしまって良さそうだったのでスーパーで買った接着剤を…と思ったら、これは頭をハサミでカットするタイプのものでした。飛行機に乗ってきたのでハサミなど持っているわけもなく部屋にもないのでフロントへ。

ついでにチェックイン時に貰ったバウチャーを使います。これはホテルのカジノクラブに登録すると有効になるもので、10 ドルのバウチャーが 2 泊分？の 2 枚あったのですが、

「10 ドルを賭けたときに一緒に出すと 10 ドルぶんになる」というものだったので、財布から 20 ドル出して 5 ドルチップ 4 枚にしてミニマル 5 ドル台で 10+10 の 20 ドルを 2 回賭けたら調子よく連勝しました。明らかにさっきよりツイていたのもう少し続けようかなと思ったものの修理を優先して少しだけ 67 ドルの持ち帰り。47 ドルの勝ち。



ディーラーから貰ったチップに、フーターズの5ドルチップ（フーターズガール写真入り）が混じっていたので記念に持ち帰り。

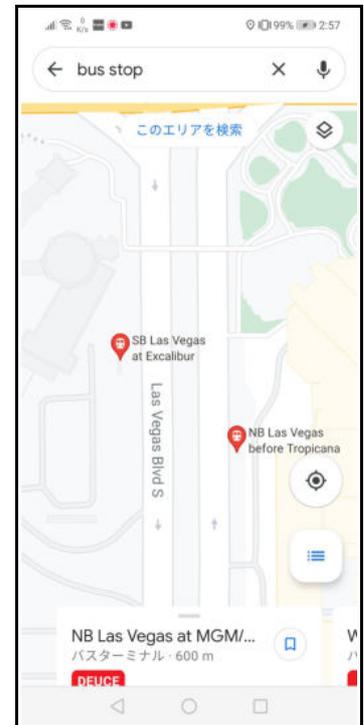
原則としてラスベガスのカジノチップは現金と等価で扱われるわけですが、カジノが潰れたらダメなんだろうかと思ったので自分でも過去にゲットした別の1枚を持ってきていたのですが、経営を引き継いでいたのならば普通に流通するようですね（伏線）。

そして部屋に戻って、帽子の修理は終了。ユニットの所にチューブの接着剤をべたべた塗って、位置合わせに注意しつつ「？」マークの裏面を押し付けてぎゅーっとしばらく待ってから手を離すと、しっかり接着されていました。ポンポン立てたり倒したりしてもびくともしなさそうです。よし。修理完了。メンディングテープは不要でしたが良いです。

## バス停をスクショ

さらに明日の観光の準備。今日の経験からも「タクシーでなくバスを利用することにするのはいいのですが、バス停がどこにあるのか探すのに苦労する」ことが判明したためですね。僕の視力では遠くのバス停は見えないし、いちいちその都度あてもなく何百メートルも歩くのはゴメンでした。屋外のどこでもグーグルマップを使えば何の苦労もないのですが、Wifiをあてにしているのはそれはできません。

そこで今回は、あらかじめ1日の予定を決め、行く予定のある場所についてその近くのバス停をグーグルマップで調べたうえ、バス停の位置を含んだマップを**スクショ**で撮るという超絶なローテクに頼ることにしました。



30分くらいかけて今日の訪問予定の所をグーグルマップで調べて、その近くのバス停をスクショしました。よしできた。

これで一応は不自由ない観光ができたのですが、「予定外」の所に行くことにした際に無力なのは明らかで実際に自由に地図にアクセスできなかったためのトラブルもあったので、やはり1日2千円くらいかかってもケチらず日本からレンタルモデム業者を利用するのが正解なんだろうなとは思いました。USAに関しては、数千円のSIMカードでまともに通信に成功できた経験がゼロだし。他国なら普通に数日は使えるんだけどなー。

## 冷たい飲み物

自分の客室の目の前にペプシ自販機とアイスベンダーがあったのは良いのですが、じゃあ飲み物も切れたのでと利用しようとしたら「ご利用できません」。なんじゃそりゃー。製氷機は動いていたので、部屋の備え付けの容器に氷を入れて、部屋に置いてある無料のペットボトル水を氷に突っ込みしのぐことにしました（部屋に冷蔵庫がないし）。

そろそろ午前4時。明日の観光に備えて寝ることにしましょう。



ペプシの自販機については一応フロントに電話して「部屋の前のペプシの自販機が使えないから対応してくれ」と連絡したのですが、翌日の夜になっても改善されていませんでしたね。やっぱり OYO ホテル、基本はダメみたい…。

## 2021年11月18日（木） 観光メインの日

目が醒めると午前5時半。細切れとはいえ睡眠は足りているだろうし、もう起きてもいいかな…。1時間ほどだらだらとツイッターをするうちに、明るくなってきたので帽子も含めた荷物を持って出ること。今日はMGMバフェイの朝食からスタート。朝食バフェイは7時からの筈だから、移動時間を考えれば早すぎはすまい。

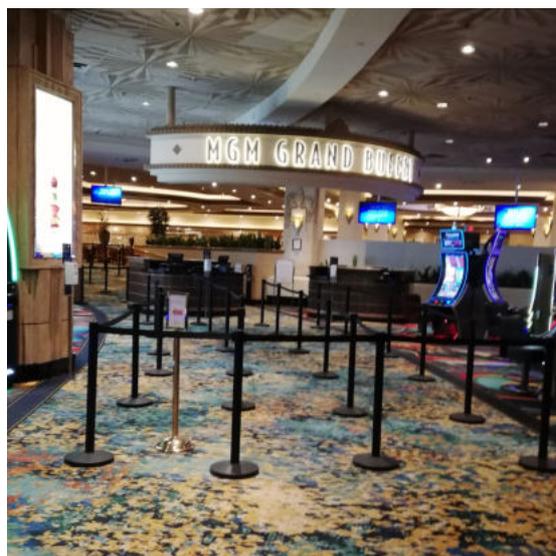


ほぼラスベガスで絶滅危惧種のもの。道のエロチラシ無料ボックス。覗いたら1社だけチラシはあったけど（大人のパーティーの広告）、以前のようにエッチな写真と電話番号だけの小さい広告が何十も掲載されている冊子でもなく。そういえば数年前見かけた広告の車両も、道でミニチラシ数枚を配るお兄さんも見かけませんでしたね…。

まあ普通に主な媒体が「電話」でなくて「インターネット」になっているのだろうとは思います。

## MGMの朝食バフェイへ

通りを渡ってMGMグランドのビルに入って、だだっぴろい敷地内と分かりにくい看板案内の中を「バフェイはどこですか？」と係員などに聞きながら10分くらいは歩いてバフェイへ。ようやく発見するも「朝食バフェイは8時から



です」とのこと。あれー？インターネットの情報ではMGMの朝食バフェイは7時からのアーリーサービスとかがあるとか読んだんだけどなー。

まあカジノで1時間潰すしかないかな、と思うも天下のMGMにはおっぱいディーラーはもちろん、ミニマム5ドルで遊べる貧乏人テーブルなどはなさそうなのだった。しばらく歩いて諦めてバフェイの前に戻り、ネットでヒマを潰すことにしました（ホテルWifiは使えるのでその点では問題なし）。

## MGMの朝食バフェイのコスパ

7時50分頃にバフェイのカウンター前に並ぶ。ちっ。1時間前からこの前に座っていた筈なのにデブに先を越されたぜ。2番目に並ぶ。そして8時になり、カウンターで30.33ドルを支払って入場。うーん、インターネットの事前情報では「18ドルのMGMの早朝バフェイ最高！」とかいう記事を読んだので期待したのだが…。まあいい問題は内容だ。



並んでいる料理のものから、自分の口に合いそうなものを適量ずつ取って皿へ。

### 茶色い。

自分の貧乏舌には割と合う塩気と脂っ気と糖分の食事ではあるんだけど、正直なところコレで30.33ドルの元を取れと

いうのはキツイなと思いました。個人的にはブレッドにクロワッサンがないのも減点ポイント（甘い奴がデザート扱いとしてあり）。

ローストビーフを切り出したので1切れ貰うも、そろそろ締め構えでケーキやデザートを取り、またミルクのベンダも



発見したのでシリアルをいただきます。

こんなもんかな。ほどよく満腹にはなりました。これで 30.33 ドルはやや厳しめですが。レシートを見ると「チップは5ドルが目安」とありますが正直なところ抵抗があります。さりげなく周囲を見ると、席を立って出る際にテーブルにチップを残していないのも割と普通そうだったので、自分もそれにならってこの数字は**無視する**ことにしました。お気持ち1ドルだけ皿を片づける人のために置いて出ます。よもや呼び止められて「チップが少ねぇよ」とまでは言われまい（笑）。足早にバフェイを後にします。コロナで苦しいのかもしれないけど、今後もこのシステムなら、もう次はないな MGM バフェイ…。

## ラスベガスの看板

朝食を終えて9時。日本では皆が寝る時間（午前2時）だが、僕の一日はこれから始まる。MGM をストリップ側に出て、空中通路沿いに交差点を横切ってエクスカリバーに移動し Deuce の SB でバスを待ちます。特筆するほどのこともなく9時20分に乗車。工事中で酷い渋滞に遭うもトラブルというほどのものでもなく10時には目的地に到着。

ラスベガスの看板（青空）の前で写真を撮るとするのは今回の表紙コンセプトでありウルトラクイズの帽子まで用意したわけですが、箱は諦めたにしても自撮り棒を使わずに良い写真は取れるかな…と思いつつ看板の前に行くと、看板の前で写真を撮ろうという観光客の列を黒人のブラザーがさばっていて、1組ずつ友達連れやらカップルやらの写真を撮ってあげています。別にチップを受け取っている風でもなく仕事でもなくおそらくは趣味のボランティア。ともあれ「これはいい」と思ったので自分も並んで写真を撮って貰いました。ブラザーはノリノリで



「手を挙げて」だの「ポーズ付けて」だのを指示してきましたので、それに応じて何枚も写真を撮ってくれました。お礼を言って去ります。画像は表紙とかとは別テイクのもの。

## ピンボール博物館

観光の下調べの際に、近くに「ピンボール博物館」があることを調べていたので寄ることにします。北に何百メートルか歩いてはるばる到着。でかい倉庫にしか見えない建物です。

さっそく入ろうと思ったら「11 時開場」と看板がありました。あと 1 時間か…。睡魔が襲ってもきたので少し離れた日陰の駐車場で横になってうとうとしますが、どうも実際は 10 時半くらいで開いたようです。



入場料は無料なのでそのまま入ります。

ヒッハー！こいつは最高だぜ！

でかい倉庫にしか見えない建物（ここは普通に倉庫だろう）の中にぎっしりと並べられている懐かしの往年のピンボールやアナログゲーム、ビデオゲームの数々。

そしてメンテ中のものを除き、すべてが電源を入れて稼働できる状態になっているのが最大のポイント。値段は原則として昔のままかな？

入口の両替機に 1 ドル札～を突っ込んでからクォーター（25 セント硬貨）を得て、それらを手にして館内を回り、これはと思った機器に

クォーター 1～4 枚を突っ込んで遊ぶ。最高。

スター・ウォーズ、スター・トレック、インディー・ジョーンズ、ELVIRA、大アマゾンの半魚人、ペーパーボーイ、ザ・シンプソンズ、ギャラクシアン…歩いて眺めているだけでも楽しいし、遊んでも楽しい。しばし時間を忘れた…と書きたいものの、実際には操作など忘れているのですぐゲームオーバーになり意外と長持ちしません（笑）。とはいえ

30分ほどは堪能したでしょうか。極めて満足度の高い場所。ラスベガスでは10ドル以下なんてゴミのようなものなので、買い物の釣銭で渡されるだけの1ドル札や硬貨に意味がある優しい世界（クォーターなんて買い物で出す機会はずりありません）。

しばらく遊んでも10ドルも使えていないので明らかに**お布施が足りない**と判断したので（そもそも入場料が無料だし）、売店で20ドルのTシャツなどを買って散財。大満足してピンボール博物館を後にしました。

## 原爆博物館

11時にはピンボール博物館を後にして、徒歩で「ラスベガスの看板」まで南に戻って Deuce NB のバス停に戻り、乗車。しばらく Deuce を北上したのち、バリース前で下車して 202 EB（東方向）バスに乗り換えます。土地勘もなくバスの中で現在地が確認できないので、外を見ていたのですが目的の建物の手前の最寄りのバス停で降り損ねて1駅を降り過ぎてしまうスタート。やはりグーグルマップは常時確認できるようにしたい。

それはそれとして原爆博物館（National Atomic Testing Museum）に到着しました。

観光案内のチラシに入っていたバウチャーを利用して、入場料22ドルの所を4ドル割引で18ドルで入場。

展示については、基本的には「原爆の開発史」であり

「ヒロシマ・ナガサキで使用した原爆はこのように開発されました」という話で、イデオロギー的には「それは正しい行為だった」と主張する内容ですので、その辺に抵抗があるなら快い展示ではありません。まあ、それが耐えられない人は最初から来ないとは思いますが。

それほど広い展示でもないのに、のんびり観て回っても

1時間ほどで「こんなものかな」感。売店ではいささか時間を使ってお土産を購入したり。当時のプロパガンダ色の強いイラストをモチーフにしたマグカップなども購入しました。



またネバダ州は「エリア5 1」のある **UFOの聖地**でもあるので、エリア5 1関連のグッズも充実していましたが、特に手は出さず（実のところ、ここでなくても市内のあちこちで買えるエリア5 1グッズ）。

また1セント銅貨を放り込んだうえ、さらに75セントくらいの代金を払ってから機械を操作してギリギリギリと手でネジを回してアナログ式にその銅貨をぐにゅーっとプレスし5×3センチくらいの観光地の刻印つきの薄い銅板に加工するという観光土産アイテムも操作して銅板を持ち帰りました。ここでもクォーターの出番。

実のところ売店の片隅の「この機械は何だろう？」からスタートして操作方法を読んでトライして機械を操作して「なるほど」と思い至った次第。ちなみに最初は失敗して、銅貨の位置をセットし損ね（4種類くらいあった好みの絵柄の選べるスロットに入れる必要がありました）無駄にしたとかいうのもありましたが、まあ別にいいです。なお後で気がつきましたが、割と市内の観光地のあちこちの建物の隅っこにこの機械はありました。おそらく50年くらいは歴史のある由緒正しい観光アイテムなのでは。「アメリカって硬貨を加工していいんだ（妻）」。そういえばそうだな。

原爆博物館は核戦争の時代＝冷戦時代の空気を色濃くしている展示と売店なので、LENINADEとかいうネーミングのレモネードを発見。喉も乾いていたので「あ、面白い」と思いつつ購入。休憩所でごくごくします。栓のデザインも含めなかなか面白げなので、コレはひとつ友人の**共産趣味者**にコミケで土産としてあげるのもいいかな？と思ったので洗って持ち帰ることにしました。もしかしたら、とっくに持っているかもしれません。

一通り堪能してから、13時には原爆博物館を

出て202バスのWB（西方向）に乗って、まずストリップまで戻ります。一応巡回予定にしていたこの近くの1ドルショップなどは見送る（無駄に歩くのしんどいので）。



## ハローキティカフェ

次の下調べ済の観光ポイントはハローキティカフェ。ニューヨーク・ニューヨーク北にあるのでシーザーズ・パレス前のバス停で待ち Deuce の SB に乗車。

ここで Deuce の車内で「RTC Wifi」なるものの存在に気が付いて歓喜する。あ、これがあるのなら常にグーグルマップを車内で開いて現在地を確認しながら適切なバス停で降りられるじゃないですか。やはり 1 日 2000 円のモデムのレンタルは不要かも。

ただし車両によっては「Wifi の効きが悪い」ものもあるのを後に知ります。



ニューヨーク・ニューヨーク前でバス停を降りて少し歩くと、ありました。軽食とグッズが売られています。

期待を裏切らない内容。喉が渴いたので甘い紅茶を頼んで、妻への土産としてトートバックなど買いました。

自らの KAWAII 地位を脅かそうとするキティに対し威嚇する PUIPUI です。目の焦点が合っていない女同士の戦い。

まだ 14 時ですけど、堪能できました。では次の観光スポットへ。



## M&M の刻印サービス

本日の観光予定はだいたいクリアしたので、昨日クリアできなかった「M&M の刻印」を終えることにしましょう。一応、これは「落としたくない」ラスベガスのイベントです。

そこで M&M ストアへ。ニューヨーク・ニューヨーク前のここからなら徒歩圏内です。

M&M ストアの3階に行くと、昨日のスタッフが僕を見るなり「来たね！」という感じの笑顔を見せてくれたので、さっそく刻印サービスを申し込みます。

まずは自販機で、自分が入りたい文字や記号（画面リストから選択）を選択してタッチキーで入力のうえで5パターンまでを登録したら発券して貰ってレジへ。レジで刻印するチョコの種類と色を選び、量を選び、ギフトボックスの種類や色などを選んでから支払い。「1時間後にはできております」と控えを貰って終了。

以前とシステムが変わっていて、刻印する M&M はカップを渡されて「これ一杯に詰めてください」と言われて店内の何十種類もの色のベンダから自分で好きなものを好きな比率でアソートしてから機械にざざーっと流してその場でぱちぱち刻印する楽しい方式ではなく、メニューから「この色とこの色を」と最大 10 種類くらいのチョコを選んで後で受け取るシステムになっていました。まあ、普通にコロナ対策なのでしょう。ちなみに放送禁止用語を入れようとするエラーで先に進めません。

会社への土産はこれでいいのですが、以前にはなかった「あなたの顔写真を刻印できます」というサービスを発見したので、自分（家族）の土産としてチャレンジすることにしました。

基本的には、カメラのある小部屋に入ってから、カメラを操作し自分の顔がフレームにおさまるように画面を操作して位置合わせをしたうえで、画面上のタッチボタンを押して撮影。おひとりさまだと、フレームに顔を入れたうえで画面のタッチボタンに手を伸ばして微笑むのが割合とつらかったです。まあ、全体的に前進ができるズームの存在に気が付かなかったのも大きいのですが。

撮影ができたならプレビューして「OK」を出せば1パターンができあがり。あとは同様に





文字入力なども込み5パターンまでを登録して注文して終了。こちらもカウンターに預けて支払いを終えると15時。流れで昼飯は抜いたものの、朝食はバフェイで腹いっぱい食べたのでまだ空腹でもなく夕食にはせずに、昨夜も利用したフードコートで、飲み物を飲んで時間を潰したうえで受け取ります。

うんまあ、こうなるよね。ネタとして悪くありませんがこんなものを喜んで受け取るのは家族くらいでしょう。

## ホテルに戻る

ホテルに戻ると16時半。今日は観光の予定をコンプできたので、あとは夕食とカジノくらいしか予定はありません。とりあえず部屋で服を脱いでベッドに横になるなり襲ってきた睡魔に抗わずに寝ます。ぐう。



## フーターズの夕食

目が醒めると19時。いいね。夕食にしましょう。

財布の中の現金を数えると200ドルほど。いよいよ明日からのMTG Vegasの会場では、マジックのカードを売ってドルを確保するだけなので無問題。100ドルくらいはカジノですっつても良さそうだ。

服を着て1階に降りてフーターズへ。しかしコロナでの縮小営業中とはいえ、1階にあるレストランがこのフーターズ1件しかないというOYOホテルは正直ヤバイと思う。

10分待たされてから奥のソファに案内されたので、とりあえずコーラを頼みメニューを

見ます。メニューがいつもの冊子でなく、両面の白黒コピーだったのに驚きますが、ああそうか、コロナ対策の使い捨てか。結局は、悩むほどのこともなくいつものケサディア（ビーフとチーズ）に、つけ合わせのポテトを一皿。少し待つて到着。



ポテトがアメリカンなサイズで、これは半分残すだろうな（すまない）といった

以外は、まあコールスローもあるにしても普通のケサディア1人前。まあこれくらいなら何とか…と思うも、そろそろ空腹感もある身でもそこそこキツイ。うーん…やはり胃袋が加齢で小さくなってしまったのを認めざるを得ないのだろうか。コーラで流し込みながら小一時間ほども格闘。そしてケサディアを完食したあたりで気が付いたのだがもしかして、

### **ダンスタイムがない…？**

ううむ、それもコロナ対策なのだろうか。しかしそれではフーターズに来た意味がない。満腹になったので会計。チップ込み31ドルを支払うことに。これ自体は無問題ですが、OYOホテルにはもう泊まらないだろうし今回で最後かなフーターズラスベガス店…。

## **カジノ（第3回）とキャッシャーでのトラブル**

そろそろ20時。では今夜も遊びましょう。

100ドルを5ドルチップに替えて貰い軽くひと遊びして24ドルの負け。んー、まあこのくらいにしておきますか…。5ドルチップを50ドルチップなどに替えて貰って席を立ちキャッシャーに向かいます。しかしここでトラブル。

本日の76ドルぶんのチップに加えて、昨夜貰った「フーターズ」チップに、日本からも持参してみたフーターズのチップを合わせてキャッシャーに出すと「このチップは現金にできないよ」と言ってきます。なんだと。

「これは昨日そこのテーブルでディーラーがくれたヤツなんだが」と言っても（ウソでは

ない。半分は) 知らん顔。「他のヤツに聞いてみてくれ」と言うと、その隣のヤツに話しかけて「ないよねえ」「うん」みたいな会話。おい。

その場は引き下がったが、さすがにムカついた。**もう来ねえ**よ OYO ホテル。かつてはラスベガスの一番宿だったのにフーターズカジノホテル。残念だ。良いとこなかった。

厳密には（これは書かなかったけど）部屋でカードキーが1枚見当たらなかった際に（…落としたかな？）と思って再発行をお願いした際に、何も詮索せずに ID だけ確認して即座に2枚再発行してくれた（※もう1枚も無効）ことくらいはオペとして評価ができるのですが、でもまあコレも「やって当然」のことかな。

OYO ホテルはもうたくさんだけどフーターズには罪はないので、まだ開いていた売店でフーターズのマグカップなどを少々自分土産に買ってから部屋に戻ります。

## 荷造り

シャワーを浴びると 21 時。ネットで「もっこり半兵衛」の新刊が出たことを知ったので早速 Kindle で購入してダウンロードして読んだりするうちに 22 時になり、睡魔が襲ってきたので抗わずに横になります。ぐう。

目が醒めると午前 1 時半。眠気もないのでそれでは明日のチェックアウトに備えて、軽く荷造りをすることにしましょう。

この2日間の使用済みの下着とタオル、それに購入したお土産（割とたくさん）の類を旅行鞆に詰めて安定させます。さらに明日から3日間活躍して貰うマジックのリミテッド関係の空のデッキケースやスリーブなどをリュックに移動させます。

そして本日、無事にその役目を全うした「ウルトラクイズ」の帽子も不要になりました。



まず「青い外箱」は日本に持ち帰るつもりはなかったし強度的にも持たなかったので解体してゴミ箱へ。企画倒れだった感もある「画板」と「自撮り棒」は捨てることもないので旅行鞆へ移動。帽子の本体は…予想以上に昨日の接着剤ががっちりついていてまだ使用に耐える感じがあったので、解体せず明日以降も持ち歩いて片手で頭に乘せて撮影するのはありかもと思ったのでそのまま頭陀袋に入れて手荷物へ。最悪電源ユニットは持ちかえることにしよう。よしこんなもんか。

## カジノ（第4回）

眠くなかったのもうひと遊びしに一階に降りてカジノ。種銭80ドルで始めるも、沈みベースで60ドル近傍をうろうろしていたので、一瞬だけ原点を越えた所で精算して終了することにしました。2ドルの勝ちの82ドルで終了。

何食わぬ顔でフーターズの5ドルチップを混ぜてみたら、普通にそれも換金されました。だよね。夕方のアレは何だったのか。スタッフの練度と申し送りの不足なんだろうなあ。

すこし肌寒かったので1階に降りる際にはPUIPUIのトレーナーを着ていたのですが、キャッシャーのお姉さんが目ざとくそれに気がつき指さしてCute!と言ってきます。を、これは恋の予感か（ちがいます）。世界に通じるPUIPUIのカワイさ。しかしもしかしたらあのお姉さんは日本アニメも詳しいアニオタなだけだったのかも。



部屋に戻ると午前3時。さすがに寝ます。

いよいよ明日から3日間は、ラスベガスに来た本来の目的である「MTG Vegas」で遊びまくれる日々の始まりです。

## 2021年11月19日（金） MTG Vegas 初日

目覚ましをかけずとも6時半に起床。いい感じ。新しい朝が来た。マジックの朝だ。

会場は8時に開くので、7時にはホテルをチェックアウトして向かえばいいでしょうね。

ここで時間を潰すよりは会場前で潰しましょう。おれたちがいる筈です。

チェックアウトしてOYOホテルを出て向かいのMGMグランドに入り、モノレール駅を探してしばらく迷ったのち（だから無駄に広すぎるし、出て行かせまいとしてるし!）、モノレール駅へ。片道チケットは5ドル。20ドル札を入れたら1ドル硬貨が15枚戻ってきて絶句して財布に入れる。

Las Vegas Convention Center (LVCC) 駅で降り会場へ。建物に入ると非常にカオスな感じのごった返した列。入場前のコロナ関連証明書の確認とリストバンドの発行のためのものでした。自分もワクチンパスポートを提示してリストバンドを貰い入場。

このへんのMTG Vegasの会場の入場のコロナチェックの様子については「ラスベガス旅行記2021（コロナトラブル編）」で詳しく書きました。

## パッケージ受付

9時前に入場できたので受付を済ませる。と書くと順調そうだが、実際には入口を入ったところの受付がごった返していて、かなりカオスな状態。

そもそも入ってすぐ目の間の列が、ファンティック・パッケージの当日受付なのか、ファンティック・パッケージをネットで購入済の人のチェックインなのかもよく分からないし、列を整理しているスタッフに聞いてもいまひとつ明瞭でなく。



まあ結局は並んで、チェックインを済ませてプレイマットやらの一式を受け取りました。ファナティックの特典のロータスのプレイマットと、リミテッド本戦のラガバンのプレイマットを2枚。※2枚なのは間違えて余分に注文してしまったためです。あとはデッキケースに、ランダムプロモフォイルの《電結の荒廃者》。

## シールドリーグ受付

そろそろ9時だが、9時から開始予定のシールドリーグ前に受付がまだ始まっていない。受付に聞いても「遅れている」との返事だけで、その前に、自分がどうエントリーするかすらよく分かっていない。というか、過去のMFではファナティックは紙のバウチャーを渡されてこれを箱に放り込んでエントリーをしていたわけだが、今回は紙のバウチャーを手渡されなかったわけで…。

やがて親切なスタッフ（割と偉そうなひと）に詳しく教えて貰ったのだが、今回はコロナ対策もあってペーパレスで運用されており、サイドイベントのバウチャーはオンラインで申し込んだ自分の**アカウントに紐づいている**ため、CFBのサイトのMTG Vegasのサイトにログインしたうえで、そこのサイドイベントのページから支払いの際に「バウチャーを使う」とやれば良かったのだった。

ひとつ言い訳をすると、サイドイベントの画面に「バウチャーを使う」ボタンがあれば分かりやすかったのだが、実際は「支払い（\$30）を行う」と書かれたボタンを押してその先の決済ボタンで「バウチャーを使う」をやる必要があったというのは、ある。「おっかしいなあすでに料金はパッケージで払ったのに」と押すのを躊躇してました。

また分かりにくさに拍車をかけた理由として、今回の理由で自分が通信費をケチったためLVCCの会場Wifiの電波が届きにくくてしばしば通信が途切れたのも一因。入口近くでは電波が届いたんだけどサイドイベント本部で届かなかったので（笑）、そこでスタッフに画面を見せてトラブルの状況説明ができなかったんだよね。やはり、2万円をケチらずに常時通信を可能にするべきであったらどうか…。もう遅いけど。

ともあれ、これでバウチャーの使い方が分かったので、ガンガン申し込んで遊びましょう。

自分は150ドルの「リミテッド・ファナテック」を申し込んだので、通常のシールド（35ドル）が3回と、ダブルアップシールド（60ドル）が2回遊べます。全部を使い切れば、なかなかにお得。

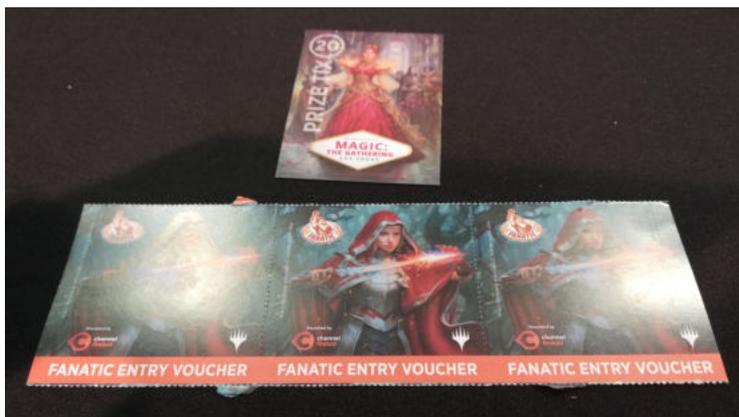
## シールドリーグ 1回目

エントリーも無事に済んだので、いよいよシールドリーグに参加開始です。

最新セットの「イニストラード：真紅の誓い」は結局、出国前にArenaで練習しまくることもなかったので、プレリで少しだけ遊んだだけです。分からないけど楽しみ。

順調に遅れて10時にスタートしたので案内されたエリアに適当に座り、デッキ構築用の6パックを受け取って、同時にリーグのバウチャー3枚と、20チケットを受け取ります。

リーグのバウチャーは、こいつを対戦相手と同時に使用することで、1回プレイを行うためのものです。ジャッジは対戦する2人からこの2枚を受け取ったらチケットを「買ったほうの賞品」として机に置いてから去って、あとは勝手に遊べというスタイルです。それが



3回分。この20チケは「参加賞」であり、1勝もできなくても3回戦終了後に貰えるという位置づけですが、いちいち「3回戦遊んだか」なんてチェックしていないので最初に配ってしまおうというものです。それでいいと思います。

では構築を開始しましょう。

わくわくしてパックを剥きます。まずはレアチェックから。

オリヴィアが居たので黒赤で。

除去も多くそれほど弱いデッキには見えませんが、さてさて、  
どうなることでしょうか。

《婚礼の発表》  
《触発された考え》  
《威圧する吸血鬼》  
《耕作する巨躯》  
《見事な再生》  
《真紅の花嫁、オリヴィア》

取りレア

### Round1 Juriaさん 黒赤 ××

G1 《戦慄宴の悪魔》が相手に着地したので投了。

G2 《戦慄宴の悪魔》が相手に着地したので投了。

### Round2 Alexさん 緑黒 ××

G1 《戦慄宴の悪魔》が相手に着地したので投了。

G2 《戦慄宴の悪魔》が相手に着地したので投了。

## もしかしてこの環境、クソなのでは…。

### Round3 Crisさん 緑黒 ○××

G1 満を持して着地したオリヴィアが無双して勝ち。

G2 いいとこなし。

G3 いいとこなし。

結果、0-3で終了。

## 昼食

13時を回りました。朝食を食べていませんし、昼食にしましょう。特に準備もないので、  
会場内で調達するしかありません。

フードコートに行きます。ハンバーガがポテトとセットで12ドル。まあ合格か。レジに  
持っていくと「飲み物はいいいのかい？」と聞かれたので「なるほど」と思い、引き返して

値段を見ず壁際のゲータレードを1本取りレジへ。レジで17ドルを請求されたので目をむくも、そのまま払い、食べながらレシートを見る。下界では2.5ドルのゲータレードが4.25ドルもしやがった。さらに税込みで総額17ドル。気絶しそうな値段です。



明日からは会場内で飲み物を買うのは極力避けて、朝のうちにホテルから2-3本を買って持参することにしましょう。ハンバーガー12ドルのほうは「あり」だと思いました。暖かいものは元気が出ますね。気を取り直してシールドリーグの2回目へ。

## シールドリーグ 2回目

わくわくしつつパックを剥きます。まずはレアチェックから。

何度見ても《アヴァブルックの世話人》に書いてあることがおかしかったので、これをフィニッシャーに据えた黒緑にしました。全体除去でもなければ、これ、睨みあつてるときに出せばゲーム終わるよね…。

《祝福されし者の声》
《ファルケンラスの先祖》
《アヴァブルックの世話人》
《復讐に燃えた犠牲者、ドロテア》
《面汚しの乙女、エインジー》
《砕かれた聖域》

取りレア

### Round1 Airsさん 青赤 ××

G1 殴り合いのすえ負け。

G2 相手のフルパンにライフが10点あったので一体を通したら《確実な一撃/Sure Strike》を2枚がけされて+6/+0がついて死亡。くっそー、そうきたか。

**Creatures: 15**

《しつこい標本》  
 《ほつれ服の世捨て人/憎まれ者の魔女》  
 《不貞腐れる農家/不道德な収穫者》  
 《ファルケンラスの先祖》  
 《大食の客人》  
 《名射手の弟子》  
 《這いまわる孢子》  
 《戦墓の死体あさり》  
 《鉤手の船乗り/鉤裂きの略奪者》  
 《田舎の補充兵》  
 《婚礼の警備兵》  
 《擬態する士官候補生》  
 《アヴァブルックの世話人/ホロウヘンジの猟匠》  
 《繁茂の狩り手》  
 《棘茨のワーム》

**Spells: 8**

《牙の天稟》  
 《巨大な力》  
 《寄生性掌握》  
 《自然の抱擁》  
 《防護の太枝》  
 《名誉ある家宝》  
 《骨の髄まで》  
 《忌まわしき儀式》

**Lands: 17**

《進化する未開地》  
 《沼》\*8  
 《森》\*8

構築デッキ

**Round2 Zushrさん 白緑 xOx**

- G1 土地2枚でキープしたら、3枚目をなかなか引かなくて負け。  
 G2 相手のクリーチャー事故で勝ち。  
 G3 押していたが、相手の《恐怖のドールハウス/Dollhouse of Horrors》が回り始めて膠着し、こちらが《アヴァブルックの世話人/Avabruck Caretaker》を出してドヤ顔していたら相手も出してきたので吹く。相手の方が先に踏み切って全部に+2/+2を乗せて来てワンパン負け。

**Round3 Gavinさん 黒赤 O×O**

- G1 危なげなく勝ち。  
 G2 向こうに《真紅の花嫁、オリヴィア/Olivia, Crimson Bride》が出て負け。  
 G3 向こうの事故で勝ち。

どうにか全敗しなくて済んだか…。初日はこれで終了です。

## マルディグラにチェックイン

シールドリーグ2回目を終わると17時過ぎ。  
今日のサイドイベントは締め切ったし、元気もないし荷物もあるので会場を離脱します。  
重い荷物を押し真っ暗な中を南へ歩いて、少ししてマルディグラへ。まあ、十分に徒歩圏内。



登ったのは減点対象ですが、入室するなりそんなことも忘れる、マルディグラの広い部屋と快適な調度品。  
まずは一息入れましょう。

## コンビニに買い出し

休んだので、マルディグラを出てさらに南のコンビニだかスーパーに買い物に行きました。  
かつて知ったるマルディグラの近所。



フロント横のマルディグラのレストランも楽しみのひとつですが、今は横になりたいので横目に見つつチェックイン。

2139号室なので2階へ。エレベーターが故障していて重い荷物をかついで階段を



普通の値段と言って良いペットボトル（会場で1本4.25ドルも取りやがるゲータレードが2本3.5ドル）と、スポーツドリンクよりも安価な牛乳などを買ってホテルに戻りました。この隣に大麻ショップがあるという話でしたが、見たところ発見できませんでした。



## 体力回復に努める

部屋に戻ったら気絶しそうに疲れを感じたのでベッドに横になり、そのまま2時間ほど経過。

目が醒めたら21時。マルディグラのレストランは22時までだったかと思いましたが、さほど空腹でもないので、今夜は夕食は抜いて胃を休めることにしました。

とりあえず部屋に暖房を入れられることに気がついたので高めに設定してぬくぬくして、さらにバスに湯を満たして入ります。だんだん体力が回復してきました。

風呂から出たら、部屋のWifiでネットにつなぎだらだらしたりします。日本では土曜の昼で、ゲームマーケットが始まっていました。自分のサークル「Origins研究会」も出展しており、妻や友人に任せていましたが、売り上げに影響はないようです（むしろ自分が居ない方がよい説）。

ツイッターの広告は日本とは違います。出会い系ばかりだなラスベガス！

また、DiaryNoteを開いて本日のシールドリーグ2回の記録を付けました（本書のための備忘です）。

## 荷物の増量予約

本日の反省点は、OYOホテルをチェックアウトし会場入りしたため1日中重い旅行鞆を引いて会場内を歩く必要があったことで、無駄に体力を消費してしまった感があります。

日本に居る際にサイトで「会場にクロークないんですか？」と聞いたけど返事がなかったんだよね…。クロークないのかなあ（伏線）。

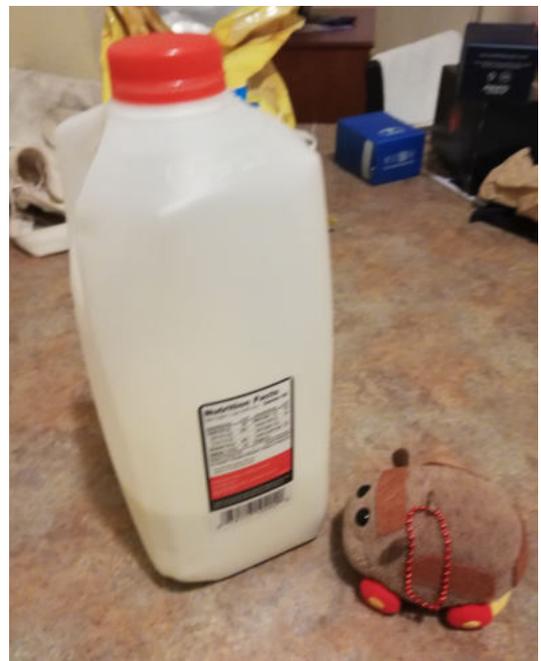
ていうか改めてこの旅行鞆を持ってみたら半端でない重さなんだが。これ、すでに23kg（デルタ航空の受託手荷物の無料範囲）をとっくにオーバーしてないかな？と思えました。手荷物計量器がないのでよく分からないし、もしかしたら今の自分の体力だから余計に重く感じている可能性もあるけど、とりあえずお土産をまだ買う以上は23kgはオーバーすることを想定したほうが良さそう。

空港に秤はあるから、そこでリパックしリュックや頭陀袋に詰め込んでクリアすることも一応考えるも、リュックや頭陀袋に収めて済む範囲かどうか不明。過去の経験からは、空港でアウトと判明してチェックイン時に増量すると、事前予約よりずっと料金がかかるのでこれは予約増量が正解かな？と思い検討。基本的には**100ドルかかる**ので少々躊躇するも、手荷物1個を増やすのも50ドルだし安心を買う意味でぼちり。

あるいはデルタと提携しているアメックスのゴールドに初年度無料で入会するのはどうかというプランも検討するも、ゴールドでも手荷物量は変わらなかったなのでこのプラン没。

夕方買った1.89リットル（0.5ガロン）牛乳を欲望のままにごくごく飲んでいたら早くも底が見えてきました。脱水症状もあったのかも。マルディグラは冷蔵庫が個室にあるので、無理に飲み干すこともなく残りを冷蔵庫へ。

などとやっているうちに日付も変わったので寝ることにしました。



## 2021年11月20日（土） MTG Vegas 本戦

朝7時。ぐっすり寝て目覚まして起きる。いい感じ。どうやら時差ボケには悩まされずに MTG Vegas に臨めそうです。今日はリミテッドの本戦。一応はラスベガスに遊びに来たメインの日です。

ゆるゆるして8時前に部屋を出て1階のレストランへ。朝食予約済でしたが、実のところはその場で支払いはするし関係なさそうです（どうでもいいですね）。

マルディグラの美味しい食事は、僕がマルディグラで楽しみにしているもののひとつです。

今朝はまだ注文したことがなかつ

たハムステーキのモーニングにします。厚切りのハムステーキに、トーストに適量の口合の卵料理とじゃがいも。ややダメージのある胃でも軽々入る大変に結構な味。これがコーヒー込みで13ドルとかもう最高ですよマルディグラ。チップ込で15ドルを置いて喜んで出て部屋に戻ります。改めて部屋を出て、ホテルを出ます。



## 会場入り



ラスベガスが爽快なのはこのいつでも青空だよ  
ね（砂漠ですから）…とか考えながら会場へ。  
ほどなく到着。

昨日はコロナチェックでごった返していた朝の  
会場ですが、あれ、ずいぶんすいてる？

自分は再度書類を出して再度のリストバンドを  
取得したのですが、どうやら2日目からは免除

しているっほいですね。まあこんなイベントに参加するヤツは普通は金曜から来るだろうしなあ。そこそこ妥当と言えなくもなく。

本日は「本戦」参加なので、昨日はほとんど立ち入らなかった奥のエリアへ。

シートオールで自分の名前と構築のための座席の番号を確認。たいした人数ではないので（あとでスコアキーパーに聞いたところ 1082 人でした）、ついでに全部覗いて「JP」であったプレイヤーを数えると 3 人。なかしゅーさんと、あと 1 人。

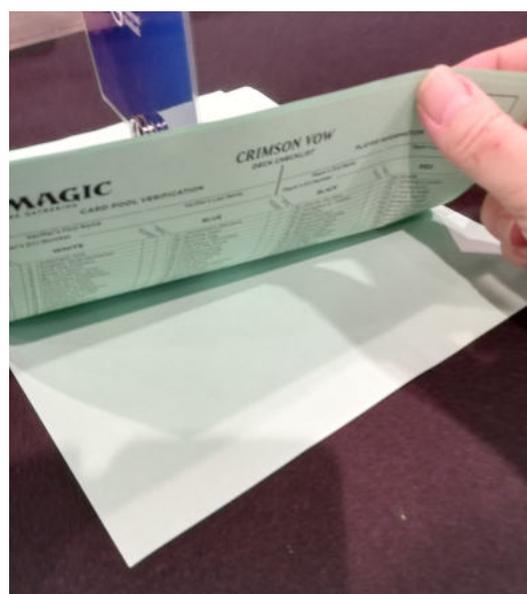


おそらく今回はコロナ対策もあり USA ジャッジのみと思われますが、本部に自分が話しかけられる面識ジャッジはいないようですので、遠目に眺めます。日本で見かけたことのあるジャッジはたぶん居る。ひとの顔を覚えるの苦手。

## 本戦開始

自分の構築用の席に移動。テーブル番号札の下に紙が伏せておかれてあったので「何だろう」と思ったらデッキ登録用紙でした。なるほど。

やがて開始時刻になって、全体アナウンスの後で 6 パックが配られて構築開始。さて、どうかな。今日の僕の運命はこれから決まります。



まずはレアチェックから。

…放火魔以外は値段はゴミ。全体除去はいいし、白赤の土地はデッキに入るかもしれないが。

とほほーと思いつつ組む。3敗ドロップコースかなあ。

レアの導きのまま白赤へ。さて、どうかな。

《招待制》  
《鏡の間のミミック》  
《錬金術師の計略》  
《移り気な放火魔》  
《調査官の日誌》  
《日没の道》

取りレア

**Creatures: 15**

《旅する聖職者》  
《動揺する傍観者/大笑する罪人》  
《吸血鬼の討伐者》  
《ケッシングの炎吹き》  
《グリフ乗り》  
《慈愛の祖霊/祖霊の抱擁》  
《民兵の結集者》  
《恐れる村人/恐れられる人狼》  
《エストワルドの盾殴り》  
《グリフ翼の騎兵隊》  
《ラムホルトの講談家/ラムホルトの荒廃者》  
《困憊の在監者/憤怒の脱獄者》  
《移り気な放火魔/凶兆の血の騒擾者》  
《送り火の落とし子》\*2

**Spells: 9**

《貫く光》\*2  
《炎恵みの稲妻》  
《不屈の意志》  
《削剥》  
《確実な一撃》  
《招待制》  
《肉体の裂傷》\*2

**Lands: 16**

《日没の道》  
《平地》\*7  
《山》\*8

構築デッキ

1回戦の対戦待ちのときにジャッジが自分に声をかけてきて自分の名前を聞いてメモしていた。な、なにかな。ぼく何かやったかな（伏線）。

**Round1 Ruckerさん 青黒 O××**

G1 威迫持ちで、殴って構わなかった所を殴り忘れるミスもあったが、押し切る。

G2 相手の《無害な旅人/Innocent Traveler》のケアをミスって、変身して5/3飛行になるのを過剰に恐れるあまり、自分のクリーチャーを減らしてしまう失敗。

G3 殴り負け。《墓の冷氣/Chill of the Grave》を決められ、テンポ負け。

早くも土がついたが、この人は自分のPUIPUIスリーブを褒めてくれたのでいいひと。

## Round2 Jasonさん 黒赤緑 O××

- G1 向こうの事故勝ち。黒マナが出ていなかったのだと後で知る。
- G2 《不笑のソリン/Sorin the Mirthless》の降臨。ソリンは除去できたものの、2/3の飛行絆魂の蝙蝠が除去できず止まらず、ライフレースに差をつけられる。おまけに《勝負服纏い、チャンドラ/Chandra, Dressed to Kill》まで出てきた。なんだそれ。無理。
- G3 ソリンは除去できたが、2/3 飛行魂絆（略）

早くも0-2の土俵際。そこまで弱いデッキには見えなかったのだが。

## Round3 Michaelさん 黒緑 O×△→O×O

- G1 勝ち。
- G2 負け。
- G3 時間切れ引き分け。ここまでか…と思ったら相手が「僕はもうドロップするから、君の勝ちでいいよ」と言ってくれたのでお言葉に甘えることにする。

3回戦のテーブル番号が2回戦と同じだったので「ん…？」と思いつつ、次の4回戦も同じテーブル番号だったので「ははあ」と思い至りました。自分には固定席が割り当てられているようです。さっきジャッジが話しかけてきて、自分の名前を聞いてメモっていたのはコレかあ（伏線回収）。

「お前は顔見知りのジャッジだから優遇してやるぜ」とかではなくて、たぶん「外人」「年寄り」による優遇ですね。あるいは固定席のテストを兼ねていたのかも。実の所、完全には信用せずに都度、掲示されるテーブル番号を確認しましたし、実際にあとで（大幅に人数が減った際に）固定番号変更も行われたのでそれで正解でしたが。

## Round4 Robertさん 黒赤緑 O×O

- G1 押せ押せの展開から相手が《不笑のソリン/Sorin the Mirthless》を出したものの、そこで相手が2/3 飛行絆魂を出さずアドを取りに行ったので、盤面をしげしてと見て「…相手フルタップだし、フルパンで勝てるな？」と思ってソリンを無視して本体に

フルパンで勝ち。

G2 ソリンにアドを稼がれ続けて負け。

G3 押せ押せ勝ち。やっとこの頃からデッキが手に馴染んできた感じでした。

実は少しだけ面倒くさいプレイヤーでした。自分も（一応は競技レベルとはいえ）いちいち優先権を確認してプレイしたわけではなかったのですが、

1.相手が 3/1 で殴ってくる、

2.自分が 2/3 魂絆持ちでブロックして、相打ちと回復を狙う、

3.相手は 2/3 に対して 3 点火力、という展開になって「まあしかたない」と思ったら、相手が「ブロック前に火力を使ったので、本体に 3 点入った」とか言い出す。いやまあ

確かにこっちも「ブロックに入っている？」みたいな優先権の確認はしなかったけど、それはないでしょ。これまでもそんなのしなかったし、ということでジャッジコール。

自分はジャッジに対して自分の言うべきことは言って待つ。向こうは少し離れた所で

ジャッジと話し、さらに交替した別のジャッジと話していて **10 分が経過**。

裁定は結局は「ブロックは成立しました。火力を打つ前の状態まで巻き戻して再開」になりました。まあ、そうだよね。相手はその火力は使いませんでした。

## Round5 Janesさん 白黒 OO

G1 《移り気な放火魔/Volatile Arsonist》無双して勝ち。

G2 《移り気な放火魔/Volatile Arsonist》無双して勝ち。

## Round6 Jeremyさん 黒赤緑 O××

G1 快勝。

G2 クリーチャー多数に押し切られる。

G3 初手に全体除去の《招待制/By Invitation Only》があり、土地が 3 枚あったので、

ほくそ笑んでキープしたら**土地が 3 枚のまま**引かず。4 マナあれば相手が止まるクリーチャーを置けるし 5 マナあれば相手がクリーチャーを出し切ったところで全部流して勝ちが見えていたのだが、どうにもならず続々とクリーチャーを並べ続けられ殴られて負け。これは 9 8 4 1。

これで3-3。これで2日目進出はもうないので、ドロップしてサイドイベントに行くか…とも思ったらすでに17時半。サイドイベントにはエントリーできず。今日は体力的にもまだ十分遊べたし、このデッキでもう少し遊びたくなったので、ドロップを取り消して、あと2回遊んでから帰ることにしました。

ふと、なかしゅーさんを見たらここまで1敗で、どうやら明日に参加できそう。BYEもないのにさすがプロは凄いなあ。（なおもう1人の日本人はドロップした模様）

### Round7 Devさん NO SHOW

デスヨネー。これで4-3。

### Round8 Markさん 白赤 xOO

G1 土地2枚キープのところ、3枚目を引かずに終了。相手も早い白赤だ。

G2 快勝。

G3 《移り気な放火魔/Volatile Arsonist》無双して勝ち。

結果5-3。結果だけ見れば「惜しくも2日目ならず」ですね。2BYEもない割には、よく頑張ったな俺。もう少し立ち上がりが早くてデッキが手に馴染んでいたらなー。ともあれこれで僕のリミテッド本戦は終了です。たのしかったー！

## アラジンを買う

ところで自分には、大昔のアラビアン・ナイトというセット（およびクロニクルというセット）に収録されている《Araddin》というカードを無限回収している友人がいるので「《Araddin》がバイヤーブースで売ってたら買ってきて」と渡米前に頼まれていました。

特に名を秘すと、アラジンさんという人です

今日は手荷物がほとんどなく身軽だし元気もあるので、バイヤーブースに行ってみました。

いやー、あんまりヴィンテージやレガシーには入る強カードとも聞かないし、そんなのないんじゃないの?と思いつつ「アラビアン・ナイト」のカードも並べているブースに行くと、ありましたよアラジン。クロニクルの《Araddin》の方は出物さえあればタダみたいな値段なんですけど、アラビアン・ナイトの《Araddin》はさすがにコレクター向けなので、そこそこいい値段です。



とはいえ「100ドル以下なら買ってきて」と言われていたし、すでに昨日の空いた時間に日本から持参した高額レアをそこそこ売却してドルの現金は財布に詰まっていたので躊躇せず即座に購入。これは良いラスベガス土産ができました（いやまあ、本人に買い取って貰うのですが）。

## 夕食

気持ち良くマルディグラに戻ります。夕食はもちろん1階レストランです。今日は昼飯は大会参加で抜いていて空腹です。（書いてませんでした）入国以来の下痢もおさまって腹具合もよし。そこでひとつ奮発してステーキにしました。おいしく頂きます。

…といってもたった18ドルとか、そういう値段なのですよマルディグラ。

チップ込みで23ドルだか25ドルだかを置いたと思いました。

このとき会場でスマホのバッテリーが切れていたことに気がついて、わざわざ充電のために夕食を遅らせるべきだとも思わなかったのが、ステーキの写真はありません。まあ、ただのステーキではあるのですが。

いやー、やっぱりエレベーターが故障していた意外は、最高だなマルディグラ…。



エレベーター故障中

## 就寝

夕食の後にスーパーで飲み物を補充したり、風呂に入ってからマジック日記を書いたり、明日はチェックアウトなので部屋の荷物をまとめたりたり、自分のために買った《密林の猿人/Kird Ape》のプレイマットを見てほくそえんだりするうちに1時になりました。

眠くなくてもきましたし、明日は早くからの予定はないしチェックアウトの荷造りは明日でいいやということで就寝。



## 2021年11月21日（日） MTG Vegas 最終日

朝7時。ぐっすり寝て目覚まして  
起きました。

さっそく1階レストランで朝食に  
します。今日はまだ頼んでなかった  
ハッシュド・ビーフにトライ。程よい  
量と味。本当に美味しいなあ。これが  
10ドルとか良すぎるでしょマルディ  
グラの朝食。満足。税とコーヒー込み  
12.68ドル。15ドル置きました。



部屋で荷造りを終えて8時半にチェックアウトして出ます。本当にマルディグラには良い  
思い出しかない。エレベーターが故障していたのと、レストランが少しだけ煙草臭いのと、  
カジノを楽しめない（スロットマシンくらいでテーブルがない）以外は本当に文句がない。  
今回は他のホテルも試してみたかったので金～日の大会のため金土の2泊だけしたけど、  
会場で荷物を押したくもないから、やはり次からは木～月の4泊しようかなマルディグラ。

### 施設のクローク

会場まで荷物を押して入場。今日は元気はあったけど、やはりこの荷物を1日中会場内で  
押すのはもうたくさん。やはりクロークはないのだろうか。ある筈だよな常考、と思った  
ので入口を入れてすぐの受付の所で「荷物を預かってくれるところはないのでしょうか」  
と聞くなり「そのFedExで預かってくれますよ」の回答。会場を出入りする際に**毎日  
横を通ってました**。そうだよなー、ここはイベント会場なんだから大荷物は預かって  
くれるに決まってるし、どうせなら入口のそばで預かってくれるほうが合理的だよなー。  
何で気がつかなかったのかなー。

そのまま荷物を引いてFedExのオフィスに入り、カウンターで「この旅行鞆を今日1日

預かって欲しいのですが、いくらかかりますか」と聞くと「5ドル」との返事。安い。頼まない理由がない。即座に5ドル払って荷物の引換券を貰います。ちくしょう。なぜ俺は金曜日にはここの存在に気が付かず、会場の中をこのくそ重い旅行鞆を押しつつ1日中歩いてしまったのかなー。バカバカ俺の馬鹿。

まあ、今後もラスベガスの大会では会場はこのLVCCだろうから、次回以降では即座に荷物を預けて身軽になれることを知って良かった！

(良かった探し)

あと、必ずしもマルディグラに前泊と後泊する必要も、やっぱりないのかな…。



## 本日の予定

会場入りすると9時を回ってますが、本日は正午からのダブルアップシールドがメインで、シールドリーグは10時からなので、今はいささかヒマです。まだシールドリーグ1回とダブルアップ2回のバウチャーが残っていますが、ダブルアップ1回分は余る。仕方ない。

本戦2日目が始まっています。なかしゅーさんも居る筈です。ちなみに5-3の自分は本戦207位でしたが、まあどうでもいいですね。

昨日のバイヤーブースに行ったら、別のアラビアン・ナイトの《Araddin》があったので、これも追加で購入しました。バイヤーに「もうないの」と聞いたら、奥の在庫をチェックしたうえで「ない」と言われたので、これにて終了。他に扱っているバイヤーはありませんでした。

昨夜アラジンさんに「買えたよー」と連絡を入れた際に、あわせて「明日、別のものが発見されたら買っていいね?」と確認していました。

## シールドリーグ 3回目

わくわくしつつパックを剥きます。まずは  
レアチェックから。  
白黒の人間で。

《ランタンのきらめき》
《オリバクの救済者》
《隠し幕/暴き目》
《小村の先兵》
《見事な再生》
《復讐に燃えた犠牲者、ドロテア/ドロテアの報復》

取りレア

### Round1 Mikeさん 白黒 xx

- G1 土地が止まって負け。  
G2 《戦慄宴の悪魔》が相手に降臨したので投了。

### Round2 ?さん スプリット

しょせんは早々に1敗してしまったデッキだし、相手がスプリットを持ちかけてきたので  
応じる。  
ジャッジを呼んで勝ったほうの賞品 60 チケットを受け取るなり 30 チケットずつ山分け。

### Round3 ?さん スプリット

別にわざわざ相手を替える必要もないよね、ということで残り1枚もそのままスプリット。  
再度ジャッジを呼んで、賞品 60 チケットを受け取って 30 チケットずつ山分け。

これでシールドリーグは終了。

正午からのダブルアップシールドに備えることにしましょう。

ダブルアップ2回のバウチャーが1枚確定で余ったので、サイドイベント本部で引き換えます。6パックかと思ったら120チケットと交換してくれて、割とほくほくかも。  
これで現在300チケット。これに正午からのダブルアップシールドで獲得したチケットを加えたぶんをプライズウォールで引き換えられることにはなりますが、何があるかな…。

## プライズウォール

それでは獲得（見込み）300+aのチケットで何を  
持ち帰ろうかな…と思ってプライズウォールを覗き  
ますが、うーん、イマイチだ。以前のようにCFBの  
Tシャツがあったら多めに持ち帰ろうと思ったので  
すが、ありません。せいぜい100チケットの過去の  
MFのプレイマットくらいかなあ…。

キキジキとPtEは、ありかな。

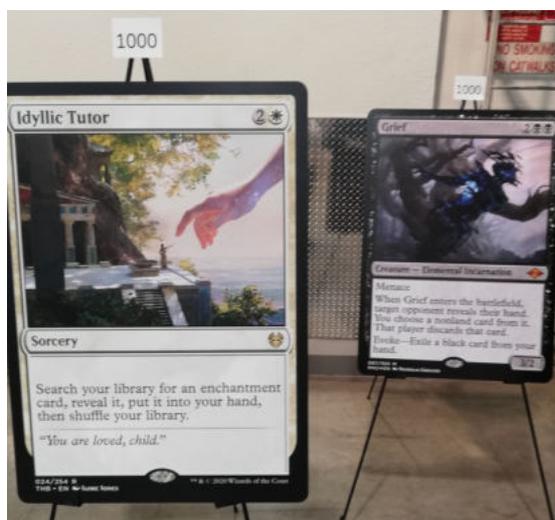


そういえば今回の大会で思ったのは「過去のMFプレイマットを売っているショップがほとんどない、でした。Elvish Presley（GPメイフェア2015）プレイマットが売ってたら買ってきてとK町さんに頼まれていて、自分も1枚買っておこうかと思っていたのですが。プレイマットは来場アーティストが自分のヤツを大量にサイン会場で持参して売られるようになったし、そもそもプレイマットはかさばる割に利鞘が薄いからかもしれないなあ、とは思いました。

## ナーセットの日本絵大人気

そんな中で目を引いたのが巨大カード、というよりは看板。過去のMFなどでの展示用に作成されたもので、でかいポスターのサイズに印刷されたものです。これらを実際を使って遊んだイベントなども開催されたこともありますが、まあ普通は鑑賞用。

色々なカードのものが1000~チケットで並んでおり、なかなかの見栄えですね。



そしてふんふんと眺めていると「灯争大戦」の《覆いを割く者、ナーセット/Narset, Parter of Veils》の、たいへん美しい日本版の独自絵イラスト（画・碧風羽）の巨大カードが並んでいて「おおっ」と声が出ました。

日本の世界のオタクに大人気のこのカード絵をUSAで拝めるとは。眼福眼福。

そしてコレはいったい何チケットで貰えるのかなあと思って見たら普通の巨大カードがなべて

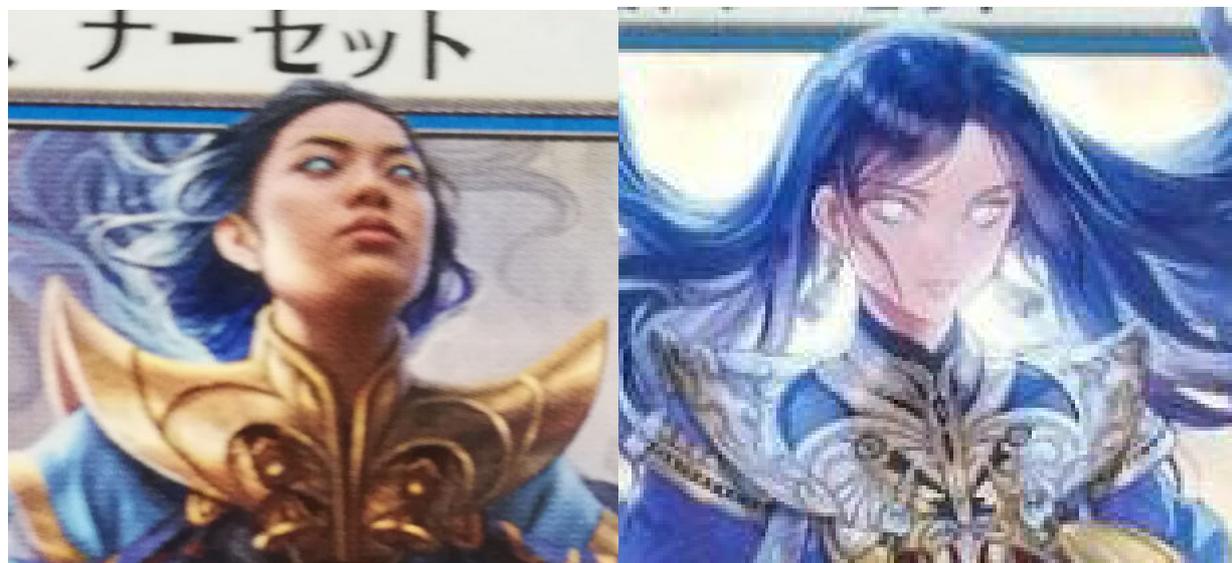
1000チケットなのに、**これだけは4000**

チケットで吹いた。いやまあ、僕でもこれは

「欲しい!」と思うし、まったくの妥当。



ご存知《覆いを割く者、ナーセット/Narset, Parter of Veils》は、そこそこ実用的な強さのカードでもあって大人気なので、元絵が100円のところこの絵違いは千円、フoilに至っては元絵が千円のところ絵違いは**10万円**したりするわけなので…。



左よりも右に10~100倍の値段をつけるのはなんの疑問もないとはいえ、オタク正直すぎだろ。

## D&D 赤箱のグッズ

なんかいいお土産ないかなー、と思いショップを巡っていると、懐かしいD&D 赤箱のイラストが目に入ります。これはいい。

これは自分土産にしようとトレーナーとブランケットを購入。トレーナーは最後の1つで、若干サイズが厳しめのものを購入。ブランケットは、まだ何個かあったものを1つ購入。ブランケット25ドルは安いだろう、と思えたので「4000円で欲しいお友達がいたら土産に買っていくよー」とツイッターで声掛けをしました。



ただしコレについては、Zakuくんから応答があったものの「ダブルアップシールドが始まったから後で行こう」と思ったら売り切れていたというしまらぬ一件。すまぬ。

## ダブルアップシールド

正午になり、始まりました。

まずはレアチェックから。

白黒の吸血鬼に寄せるよりは、緑のボム期待かなと思って、黒緑で。

《祝福されし者の声》  
《歓迎する吸血鬼》  
《鏡の間のミミック》  
《ファルケンラスの先祖》  
《壮麗な日の出》  
《死天狗茸の林間地》  
《ヴォルダーレンの居城》（フォイル）

取りレア

Round1 Georgeさん 黒赤緑 OO

G1 ブンブン。

G2 ブンブン。

**Creatures: 15**

《しつこい標本》  
 《ほつれ服の世捨て人/憎まれ者の魔女》  
 《群れ歌の子狼》  
 《隠遁した剥製師》  
 《ファルケンラスの先祖》  
 《名射手の弟子》\*2  
 《櫻影の忍び寄るもの/月光の待ち伏せるもの》  
 《花の織り手/《花纏いの人狼》  
 《予言の像/見捨てられし打破者》  
 《血に狂った社交家》\*2  
 《戦墓の死体あさり》  
 《無害な旅人/害意ある侵入者》  
 《田舎の補充兵》

**Spells: 9**

《血の泉》  
 《巨大な力》\*2  
 《英雄の破滅》  
 《当て付けの議論》\*2  
 《骨の髄まで》\*2  
 《壮麗な日の出》

**Lands: 16**

《死天狗茸の林間地》  
 《沼》\*8  
 《森》\*7

**構築デッキ**

1回戦に勝ったのでスリップをサイドイベントのステージに持っていったら、本戦スコアキーパーが兼ねていたのか「それは奥の本戦テーブルに持って行って」と言われる。それだけのために広い会場を往復200mも歩きたくなかったので、スリップを通りがかったジャッジに渡して終了。

**Round2 Albertさん 黒赤 ××**

父親と来ていた8歳くらいの白人の（まあかわいげな）男の子で、あんまりルールをよく知らずにテキストを読まずにプレイは稚拙なのはまあ仕方ないと思ってニコニコしながら対戦したのだが、**プレイが雑**なのはまだしも、こちらの**話を聞かない**のには内心で閉口する。カードテキストに書いてある通りのことをやらないので、しばしば止めて説明するのだがその間も**横を向いて**いたりするのを内心で「ひとの話を聞けえ！」と思いつつカードテキストを指さして「な？ここにこう書いてあるよな？」とニコニコしながら説明してプレイを進めることしばし。

しかしそんな**クソガキ**相手でもデッキは強かった。ボムレアの《血瓶の調達者/Bloodvial Purveyor》や《真紅の花嫁、オリヴィア/Olivia, Crimson Bride》を雑に展開して殴って

くるわ、こちらのクリーチャーは除去するわでストレート負け。

対戦後に父親が席に来たので「もうちょっと何とかしたほうが」とか「将来の期待」とか言ってやろうかとも思ったが嫌味か負け惜しみにしか聞こえそうにないので何を言わずに去って終了。

### Round3 Calviaさん NO SHOW

まあ1-1-1の4点スプリットだろうな、と思ったら相手が現れずに勝ち。6点はダブルアップだと400チケットにもなったので、これは意外とおいしかったな。とはいえ合計700チケットでも、たいしたものは持ち帰れないのだけど。

ともあれ、これでMTg Vegasの全イベントの参加を終了。楽しかったあ。

アーティストエリアとバイヤーブースを軽く覗いてから（何もなし）プライズウォールでプレイマット3枚と「時のらせんリマスター」10パックに変換して終了。



なお、なかしゅーさんはMTG Vegas2日目はTOP 8に残って総合6位でした。プロはさすがだとしか言いようがないですね。

## ダウタウンへ

そろそろ 17 時です。それでは会場を離脱しましょう。FedEx で荷物を引き取る際に、ナーセットの巨大カード（→P.47）を梱包して発送しようとしているオタクがいたので「4000 チケットかき集めたのか。すげえなオタクは」と感心。「写真に撮らせてくれ」と一瞬言いかけたが、やめる。荷物を受け取って会場を離脱。

当初はバスでダウタウンまでと計画したものの、この大荷物を押してバスターミナルで乗り換えたりするのは論外の企画倒れと判断したので、タクシーを探す。

そこで会場外の交通整理の兄ちゃんに「タクシー乗り場はどこですか」と聞くも、どうも聞き方が悪かったのか、指されたストリップ方向にしばらく歩いても何も見当たらない。結局はウエストゲートの入り口まで戻って拾った。流しのタクシーなんて期待できないのだから、最初から一番近いホテルの入口に向かうのだった。無駄に 20 分くらいうろろして体力を消耗しました。

タクシーに「ダウタウン、ゴールドンゲート・ホテル」と指示出し。

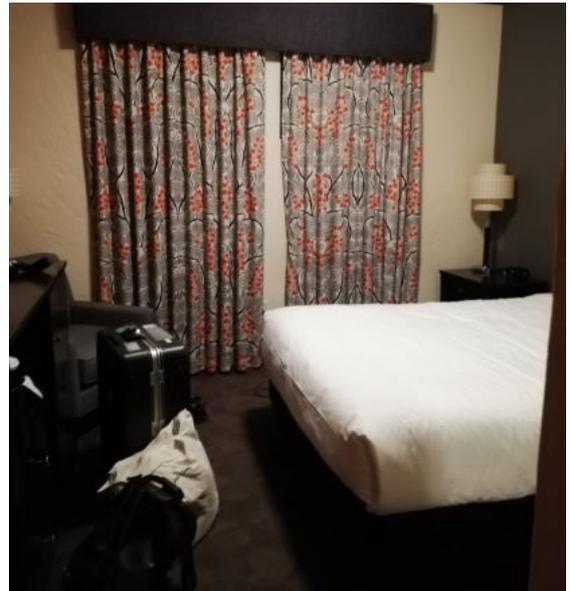
## ゴールドンゲート・ホテル

しばらく走ってタクシーはダウタウンに入り、18 時過ぎにゴールドンゲートの裏口に到着。30 分くらいはかかって料金は 40 ドルほど払ったと思いますが忘れました。

そのままホテルにチェックイン。受付女性は割と好みの感じ（眼鏡・巨乳・黒人）ですが、べつに態度には出さずカードキーを貰って 246 号室へ。やっとこの重い荷物を部屋に置けますよ。荷物を置いたらフリーメントに出て夕食にしましょう。



部屋に入るなり、思わず「ちいさっ！」と声が出ました。東横インのほうがまだ広いのでは。ほぼ1人用のベッドだけで一杯の部屋。ベッドサイドの机でデスクワークをしようと椅子をベッド前に移動させるのもギリギリの狭さ。冷蔵庫なし。バストイレは普通だが。TVではエロビデオが視聴できるけど（有料）、そんなものは加点要素にならない。フリーモント沿いの立地とはいえ、これは良い評価を入れるのは難しいな…。



## フリーモント・ストリート・エクスペリエンス



ゴールデンゲートを出て大通りのフリーモント・ストリート・エクスペリエンスへ。ああ、やっぱりこの昼のように明るい、どちゃくそにやかましい狂気の空間はいいなあ。



## TOY SHACK

ゴールデンゲートはフリーモントの北端にあるので、基本は気のままに南にぶらぶら歩くだけです。そろそろ19時なので夕食をどこで食べるのかも考えるべきですが、夜は長い。

とりあえずフリーモントの南端まで行ってから、その近くのオモチャ屋「TOY SHACK」に入りました。ここは22時まで営業の筈なので安心。



基本は、アメコミや映画のフィギュアやらの多いよくあるタイプの店だとは思いましたが、スター・ウォーズやらスタートレックは割と充実しているなと思いました。特に「これは！」と思って日本に持ち帰るまではしませんでした。

中古系もそこそこ充実していましたが、アニメのセル画まで置いてあったのには少し驚きました。

アメリカのマイナーなカートゥーン系が中心でほとんど興味も沸きませんでした。が、ぱらぱら見ていたら日本のアニメも少々ありました。

「ストリートファイターII」かあ…。

1995年ものですね。

まあ、買いませんでしたが。値段も見なかったし。



## Benny's Smokin'で夕食

夕食はどこにするかなとあれこれ迷ったすえ、結局はほぼスタートの地点まで北上してゴールデンゲートはす向かいにある Binion's ホテルカジノの奥にある Benny's Smokin'で夕食にすることにする。肉肉しいものが食べたい腹具合。

13 ドルの Rack of Baby Back Ribs をオーダーし、少し待つ。



骨がごろごろだがナイフがすっと入るリブステーキを一段ずつ食べていく。悪くない。堪能したのでお会計。飲み物込みで 16.25 ドルだったので「まあ 20 ドル払うかな」とも思うも 20 ドル札がない。仕方ないので 100 ドル札をウェイトレスに渡して「20 ドルを払うのでこれで釣りをくれ」と言って待ってたらウェイトレスが**戻ってこなかった**ので慌てて席を立ってつかまえ 80 ドルを回収して退店。チップ 80 ドルはねーよ（笑）。

## おっぱいカジノ（第5回）

腹も膨れました。ではおっぱいカジノの時間です。3年前に遊びに来た時にカウガールのおっぱいカジノだったのが今回の宿をこのゴールデンゲートに決めた理由なのですが、部屋に荷物を置いたあとで一階に降りると、ありましたよおっぱいカジノ。テンションが上がります。



さっそく貧乏人のお供、100ドルあれば延々遊べるブラックジャックのミニмум5ドルテーブルを探しますが、あれ…どうも普通のミニмумテーブルがありません。ブラックジャックのミニмумは15ドルからで、5ドル台は横にルーレットのついた謎の台のみ。とりあえずルールがよく分かりませんが、謎の台に座ってみます。100ドル札を出すと、5ドルチップと一緒に1ドルチップを20枚くらい両替されました。何だろうこれ。始めてほどなく分かりましたが、この台はミニмумは5ドルであるのですが、そのほかに毎回**1ドルの席料**が取られるシステムでした。それだけならば遊びませんが、そこに出てくるのがディーラーの横にあるルーレット。これは子がブラック・ジャックを出した際のボーナスを決定するもので、子がブラック・ジャックを出した場合にはディーラーが拍手してこれのボタンを押して回し、その出目をボーナスとして与えるというものでした。ルーレットを見ると、1000ドルとかいう数字もあります。なるほどなるほど。ちょっとした小額投資で大当たりリターンの可能性を含めているわけですね。やってみましょう。しかししばらく続けるも、ミニмум5ドルの台で席料1ドルは考えるまでもなくキツく、今日はそこそこ勝っているのに全然チップが増えません。4人座って居るから毎回4ドル席料を無条件に取られているわけで、さらにブラック・ジャックを出した客が出たのでディーラーがルーレットを回すと「10ドル」とかいう数字が出たので**だめだこりゃ**と考えて席を立つ。期待値がお話になりません。無条件で席料を10ドルくらい取られた筈ですが、勝ってはいたのでトータルで8ドルプラスです。

細かいことを言うと、隣の客がA-Aをスプリットしてブラック・ジャックを見事に2回当てたのに「スプリットはルーレット対象外」とかいうせこいルールがあったのも。

## おっぱいカジノ（第6回）

まだ20時なので、カジノを出てぶらぶらとフリーモントを散歩し、ショッピングを楽しみます。ドキドキしながらパスポートを出して大麻ショップに入ったり（何も買いませんでしたが）、土産物屋で友人への土産や、自分土産の「I♥LV」Tシャツなどを買いま

した。観光地の定番の「I♥LV」Tシャツは、意外にも今回が初めてのお買い物。

今まで見送っていた理由は、レジに出して気がつきましたが、単純なデザインの「I♥LV」Tシャツごときが10ドルとかの値札がついていたからですね。特売のTシャツならば3枚で10ドルくらいで買えますから。今回は財布の中のドルが余り気味（まだ千ドルくらいありました）なので手を出した次第。

そしてそろそろ戻るか…と考えて、ゴールデンゲートのおっぱいカジノのことを思い出しました。さっきのミニマム5ドル（ただし席料が1ドル）台はパスするにしても、たとえミニマム15ドル台であろうとも、少しはおっぱいカジノで遊んでいくべきではないか？お前はこのためにラスベガスに来たのではなかったのか？と自問します。結局のところ、勝敗の確率はチップの量では変わらないのだから、掛け金を吊り上げればそれだけ勝った時のリターンも大きいという**危険な考え**で席につきます。

3倍のミニマムであるのなら3倍の種銭が必要ですので、ブラックジャックのテーブルのミニマム15ドル台に座って、300ドルを出してチップに替えて貰います（ひいっ）。そして打ち始めました。いつものようにチップをツキの流れに沿って1-4単位くらいずつ賭けて、勝ったり負けたりしながらチップが増減するわけですが、ミニマム15ドルでの4単位ということはひと勝負で60ドル。7千円くらいの賭け銭が、1分もしないうちに消えたり倍になったり。小心者の自分としてはドキドキして**目の前におっぱいどころでは**ありません。

なんとか浮いているうちに手じまいして35ドルの勝ち。ひりつきました。

## 就寝

部屋に戻ると22時半。シャワーを浴びてだらだらと日記を書いたら午前2時。そろそろ寝ましょう。24時間後にはそろそろ火曜7時半のフライトに向けて空港に向かいます。目覚ましを7時にセットして寝ました。ぐう。

# シン・シティ

自分はダウタウンでも、特にフリーモントのカオスな雰囲気大好きなので、毎回立ち寄るようにしているわけですが、実の所この500mくらいの大通りをうろうろ往復しているだけとも言えます。今の所まだ表通りの店とカジノホテルにしか入っていないのですが、1本裏通りとかに行くともう少しディープなものがあるのかもしれない。まあ表通りでも大麻ショップとかタトゥー屋があるんですけど（笑）。



ラスベガスに来る度に思うのは、これだけ「欲望を解放しろ！」というメッセージを送り続けており、実際にセクシーなおねえちゃんとかが散見される割には、いわゆる売春は市内ではご法度（郊外まで行く必要あり）で「抜き」系の風俗が無いという点ですね。まあもしかしたら裏通りで違法なものがあるかもしれないし「出会い系」のチラシとかもあったのですが（利用しませんけど）。あるいはカジノで大勝しあぶく金を掴むとコールガールが寄ってくる世界なのかも。

## 2021年11月22日（月） 帰国のための検査日

目覚ましは効いておらず、ぐっすり寝て9時に起床。まあ、無問題。本日はこんな感じの行動予定を入れていました。

- ・まずはMTO Cafeに行き、エルビスサンドの朝食に挑戦。
- ・リゾートワールド内にあるクリニックIC Labsで、日本への帰国のためコロナ検査を受けたうえで、陰性証明書を発行して貰う。
- ・それが終わったら夕食と残りの観光開始。巡回予定はいくつかあります。大麻博物館とか、その他。このへんは検査の終了時刻次第で変動するでしょう。
- ・妻への土産をプレミアム・アウトレット・ノースで買うのは重要度の高いイベント。
- ・夜にはダウンタウンに戻って、ラスベガス最後の夜を楽しみます。
- ・深夜にチェックアウトして空港に移動します。たぶん朝まで寝ません。
- ・明日の朝7時半のフライトでラスベガスを発って終了！

では出発。楽しいラスベガスの観光最終日の始まりです。

### MTO Cafe のエルビスサンド

9時半にホテルを出ます。まずMTO Cafeで朝食のエルビスサンドを攻略しましょう。

MTO Cafeはこのホテルからだとなぜか400mほどの所にあります。元気いっぱいなので、歩いていきましょう。

そしてほどなく発見。

<https://mtocafe.com/>





さっそく入店しますが、自分の前にグループがおり「20分待ち」。ああ、このパターンは予想してなかったなあ。人気店です。そのまましばらく待って自分の番が来たのでカウンター席へ。

もとより頼むものは決まっていたのでただちにコーヒーとエルビスサンド（The King Elvis）13.5ドルをオーダー。オーダーの際に「フレンチトーストとワッフルのどちらに？」と聞かれたのでフレンチトーストに。しばらく待ってから到着しました。ずどーん！



量はさほど巨大ではないものの、カットしたトースト（3枚か）に、ベーコンとバナナとイチゴがどっさり、そして粉砂糖とピーナッツバターのソースとヌテラ（チョコソース）蜂蜜がどぼどぼ。容器に入っているのも追加の蜂蜜で、しかも2個。**糖分の暴力**。

PUIPUI もびっくり。イチゴは甘味でなく酸味。

さっそくナイフとフォークで口に運びます。見た目通りの凄まじい甘さ。これをフレンチトーストでなくワッフルに乗せるという選択肢もあるのか…。

追加の蜂蜜がいささか不審だったものの、これはさらに上からかけるよりも、フォークにさしたトーストを蜂蜜に突っ込んでから口に運ぶといい感じですね。蜂蜜の甘さで全体がマイルドな甘さになります（うちゅうのほうそくが乱れています）。

これ一食で一体どれだけのカロリーがあるのかは考えたくないものの、量としてはさほど暴力的でもないので、コーヒーを飲みながらふうふうおいしく完食しました。実績解除。

満足して MTO Cafe を出ました。それではこれから近くのバスターミナルまで徒歩で移動してから、リゾーツ・ワールドに行って IC Labs でコロナ検査を受ければ OK。

楽しいラスベガス旅行の最終日は、これからです。

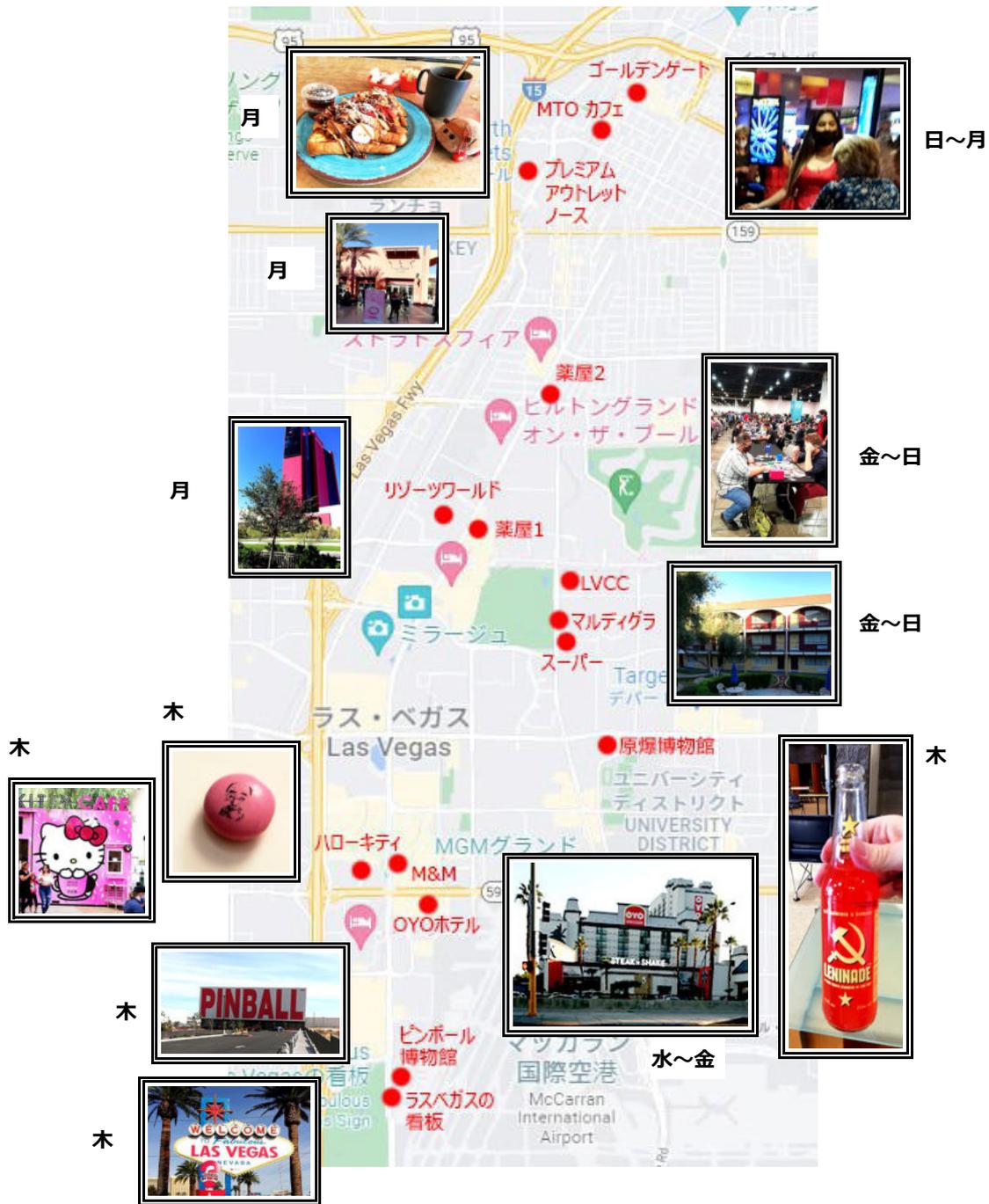
(完)

つづく…なのかな？

しかし実の所、楽しかったのはここまで…とまでは言いませんが、これから先の自分はリゾーツ・ワールドで予定の検査を受けられず色々苦勞した結果、結局は陰性証明書の取得に失敗して帰国が1日遅れることになりました。

詳しくは本誌の姉妹同人誌「ラスベガス旅行記 2021（コロナトラブル編）」をどうぞ。

日曜までは割と完璧な観光でした



## ラスベガス旅行記 2021 (MTG 観光編)

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2021年12月30日

印刷所：日光企画

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます